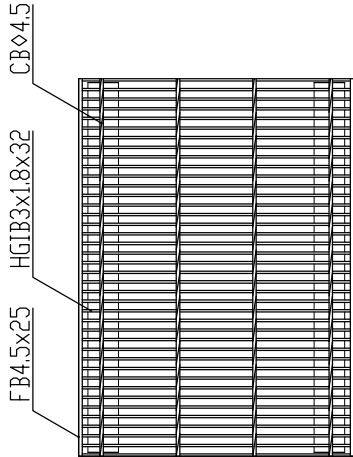
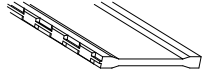
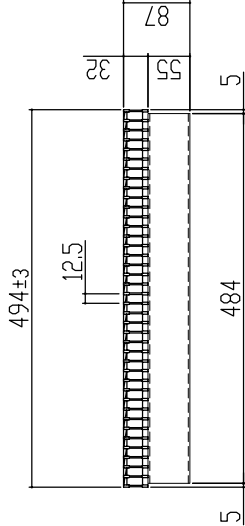
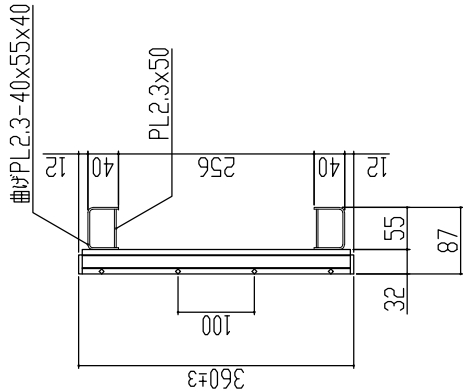




車輻進行方向(側溝)



本体重量 12.8kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日	訂正番号	訂正年月日	訂正事項	承認印	承認印	検印	製図	図面名称						
	標準製作図面							かさ上げJIS道路側溝用(ハイテン)グレーチング 溝幅250用 細目ノズリップ T-25	LNHJK90-323-2.5H					
	試作図面													
	特注図面													
	検討図面													
								図番	MKG-L-234-2					
								株式会社 マキテック MK駐輪事業部						

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	LNHJK90-323-2.5H
	製品寸法	360x494x32+55
	主部材	I - 3 × 1.8 × 32
	断面係数	Z = 0.489 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-25	支点間距離	L = 256
	後輪一輪荷重	P = 100000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。

$$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$$

$$\omega = 100000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 100000$$

$$\omega = 12.50 \text{ (N/mm)}$$

2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。

$$M = \omega \times L \times L / 8 \quad \text{より}$$

$$M = 102400$$

$$M = 102,400 \text{ (N・mm)}$$

3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。

$$\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$$

$$\sigma_b = 102,400.0 / 489.000$$

$$\sigma_b = 209.41 \text{ (N/mm}^2\text{)}$$

従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、

$$\underline{\underline{209.41 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$$

3
強
度
計
算

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--